



はつらつ 通信



Vol. **133**
2015.11.1

●発行 医療法人北志会 札幌ライラック病院
●編集 はつらつ通信局

透析の患者さまをお迎えして

10月から透析室が稼働

札幌ライラック病院では、長期入院される人工透析の患者さまの受け入れを決定し、透析室の開設準備を進めていました。そして10月21日(水)、最初の患者さまをお迎えし、いよいよ透析室が稼働。転院当日は透析装置のメーカーからも技術者が派遣され、リニューアル工事で食堂から生まれ変わった透析室には、新しい取り組みに臨む緊張感がみなぎっていました。透析室の病床数は10床で、今後も入院・転院されてくる患者さまをお一人ずつお迎えしていく予定です。

全院を挙げて受け入れ体制づくり

透析室の開設にあたり、透析室の医療機器管理を行う臨床工学技士を増員するなど、透析の経験が豊富なスタッフの充実を図りました。また、転院手続きや新たな物品の調達など、透析室の稼働に欠かせない業務を担う院内各部門との連携を深める努力もしてきました。

今号では、透析室稼働までの道のりを臨床工学技士(CE)に聞きます。





透析の患者さまが安心して長期入院できる病院を目指して 準備を重ね、透析室がいよいよ稼働



9月中旬～
3階食堂を透析室
にリニューアル



9月27日
医療機器を
搬入・設置



左から大江祥副技士長、若杉直樹室長兼技士長、望月康香技士

人工呼吸器と並ぶ 柱のひとつとして

大江副技士長は、若杉室長の臨床工学技士養成校での同期。石狩病院、札幌医科大学付属病院、札幌道都病院で、透析をはじめとする各種血液浄化療法に関わってきた大江副技士長に、若杉室長が白羽の矢を立てて着任が実現しました。望月技士は大江副技士長かつての部下。気の知れた強力なCEチームができました。

「ライラック病院のスタッフは、看護師をはじめ皆さんがやさしく協力的。透析室開設という新しい取り組みにも前向きです。準備も運用も技士だけでは行えないので、皆さんの支えがとてもありがたい」と大江副技士長。院内の各部門の協力を得るため、透析室稼働前から若杉室長が飲み込みにケーションで意思疎通の円滑化を図ったとの裏話も披露されました。

院内スタッフの連携を含め、受け入れ体制を万全に整えた当院透析室。人工呼吸器の対応とともに、透析への対応は、今後の病棟の大きな柱と位置付けられます。今年度中には、透析の最新機器であるオンラインHDFを導入して水質基準をより高め、これからは患者さまに選ばれる環境づくりを続けていく予定です。



物理的な準備のほか 人的連携も深めて

透析室の開設のため、医局と看護部は早い段階から準備を進めてきました。外部で研修や実習を受けるほか、院内でも研修を定期的に行い、看護部では臨床工学技士（CE）と協力してマニュアルを作成しました。

9月下旬に食堂を透析室に改造する工事が終わると、ダイアラライザと呼ばれる透析器をはじめ、制御装置などの関連機器、ベッドなどの入院設備を搬入。CEを中心に機器会社との綿密な打ち合わせが続けられました。

物理的な準備と同時に進行で、組織的な体制も整備。若杉直樹技士長が10月1日付けで透析室長兼任となったほか、透析の経験が豊富なCE2名を採用。大江祥技士と望月康香技士が10月13日に着任し、大江技士が副技士長となりました。

札幌ライラック病院を受診される皆様にご協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝えください。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問してください。
3. 治療やケアの方針を決める時には、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加してください。
5. 院内では常識的な社会人として行動して下さるようお願いいたします。
6. 札幌ライラック病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 札幌ライラック病院では、各階に意見箱を設置しています。ご意見やご希望がありましたら、ご遠慮なくご利用ください。

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、より良い医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 一、患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二、専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三、職員は、責任と誇りを持ち、日々創意工夫し、専門職としての使命を果たします。
- 四、在宅ケアと医療が連携し、チームとして地域住民の健康・保健・福祉に貢献します。



「健康フェア」とよひら地区」に恒例のブース出展

「健康」を通じて地域交流

天気は豪雨でも ブースには行列

当院が毎年協力している地域行事「第6回健康フェア」とよひら地区」が、9月27日(日)に豊平ま

ちづくりセンターで行われ、今年も血圧・血糖値測定と健康相談の2つのブースを出展しました。

開幕した午後1時ごろの天候は豪雨。そのため、例年より来場者がやや少ないスタートとなりましたが、当院ブースをはじめ、血管年齢や体組成、骨密度、肺活量を測定する各ブースにはすでに行列ができていました。その後すぐに雨はあがり、来場者も徐々に増え、ブース出展会場の2階体育室と大広間は多くの人でにぎわいました。

今年のフェアの特色は体験型イベントの実施。型紙を使って絵を描くステンシルや、室内で楽しむ疑似カーリング「カーリング」の体験が楽しめ、ブース出展が終了した午後3時からは大広間が「皆で楽しむ歌声ルーム」に変わりました。

イベントのブースは、看護師や管理栄養士といった専門職と気軽に話のできる場。「主治医には言いにくくて…」とちょっと聞いてみたいのだけれど…」と話し始める方も少なくありません。距離を詰め普段着で地域の方々と接することのできる機会の大切さを、出展スタッフは毎年実感しています。

健康相談の スタッフを増員

当院の血圧・血糖値測定は86名、管理栄養士による健康相談は28名の利用がありました。じっくり時間をかけて行っている健康相談では、長い時間お待たせすることが多かったため、今年はスタッフを1名増員。待ち時間を短くすることができました。

イベントのブースは、看護師や管理栄養士といった専門職と気軽に話のできる場。「主治医には言いにくくて…」とちょっと聞いてみたいのだけれど…」と話し始める方も少なくありません。距離を詰め普段着で地域の方々と接することのできる機会の大切さを、出展スタッフは毎年実感しています。



札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけではなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

内科、消化器内科、整形外科、神経内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、麻酔科、リハビリテーション科

診療時間
平日 9:00~12:30 13:30~17:00
土曜 9:00~12:00 午後休診
※但し急患の方は上記に限らず随時受付いたします。
面会時間 平日 14:00~20:00
土日祝 12:00~20:00
ホームページ <http://www.lilac.or.jp/>



医療法人 北志会
札幌ライラック病院 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号
TEL(011)812-8822

デイケアの ボランティアさん 募集中!

こんな活動をしてみませんか?

- ①お茶出しや食事の配膳の手伝い、お話し相手
- ②書道や絵手紙など趣味活動の講師役、特技の発表

活動時間 ①9:30~12:30 ②14:00~15:00

お問い合わせはデイケア・中田まで